

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 石川県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	高松病院	3
金沢市	市立病院	4
七尾市	公立能登総合病院	5
小松市	小松市民病院	6
輪島市	市立輪島病院	7
珠洲市	珠洲市総合病院	8
加賀市	加賀市医療センター	9
能美市	国民健康保険能美市立病院	10
津幡町	国保河北中央病院	11
志賀町	富来病院	12
宝達志水町	町立宝達志水病院	13
穴水町	公立穴水総合病院	14
能登町	公立宇出津総合病院	15
羽咋郡市広域圏事務組合 (事業会計分)	公立羽咋病院	16
白山石川医療企業団	公立松任石川中央病院	17
白山石川医療企業団	公立つるぎ病院	18

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,469 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	628	73.8	75.2	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	630	73.6	75.0	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.6	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,154,008	
決算規模(千円)	530,771,463	
標準財政規模(千円)	306,234,049	
財政力指数	0.51284	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	215.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,058,887			
1 経常収益	24,058,887			
(1) 医業収益	21,924,594			
入院収益	14,035,816			
外来収益	7,101,458			
診療収入計	21,137,274			
その他医業収益	787,320			
(うち他会計負担金)	344,750			
(2) 医業外収益	2,134,293			
(うち国・都道府県補助金)	55,362			
(うち他会計補助・負担金)	402,968			
(うち長期前受金戻入)	1,512,146			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,925,820			
2 経常費用	23,919,642			
(1) 医業費用	22,673,959			
職員給与費	9,553,847	43.6	55.7	49.1
材料費	7,995,410	36.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	5,460,224	24.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,386,421	10.9	11.0	12.7
減価償却費	2,660,711	12.1	9.0	8.4
経費	2,383,218	10.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,119,759	5.1	11.5	11.6
研究研修費	72,105			
資産減耗費	8,668			
(2) 医業外費用	1,245,683			
(うち支払利息)	20,023	0.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	6,178			
損益				
経常損益	139,245			
純損益	133,067			
累積欠損金	1,441,728			
経常収支比率	100.6		97.7	98.8
医業収支比率	96.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	3.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	97.5		85.7	89.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,069,580
1 固定資産	47,925,403
(1) 有形固定資産	44,868,358
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	3,055,325
2 流動資産	19,144,177
(1) 現金及び預金	14,810,660
(2) 未収金及び未収収益	4,483,648
(3) 貸倒引当金( )	322,068
(4) 貯蔵品	161,501
3 繰延資産	-
負債合計	55,735,520
1 固定負債	44,729,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,657,146
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,072,270
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,264,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,225,028
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	765,946
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,686,725
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,741,235
(1) 長期前受金	10,701,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,960,078
資本合計	11,334,060
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	-148,893
(1) 資本金剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	-150,893
負債・資本合計	67,069,580
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.2
修正医業収益(千円)	21,579,844

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	724,898	747,718
資本勘定繰入	1,661,181	1,628,571
計	2,386,079	2,376,289

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	
				病院名	高松病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,707 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	86.0	84.4	85.8
感染症	-	-	-	-
計	400	86.0	84.4	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,154,008
決算規模(千円)		530,771,463
標準財政規模(千円)		306,234,049
財政力指数		0.51284
経常収支比率(%)		95.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	215.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.3
修正医業収益(千円)	2,323,269

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,467,326			
1 経常収益	3,467,326			
(1) 医業収益	2,323,698			
入院収益	2,061,733			
外来収益	235,885			
診療収入計	2,297,618			
その他医業収益	26,080			
(うち他会計負担金)	429			
(2) 医業外収益	1,143,628			
(うち国・都道府県補助金)	15,361			
(うち他会計補助・負担金)	887,462			
(うち長期前受金戻入)	123,606			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,315,875			
2 経常費用	3,315,076			
(1) 医業費用	3,215,517			
職員給与費	2,256,061	97.1	55.7	98.9
材料費	281,742	12.1	24.7	8.8
(うち薬品費)	145,433	6.3	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,501	1.6	11.0	1.1
減価償却費	208,056	9.0	9.0	12.7
経費	435,459	18.7	23.3	34.6
(うち委託料)	184,814	8.0	11.5	17.1
研究研修費	4,727			
資産減耗費	29,472			
(2) 医業外費用	99,559			
(うち支払利息)	31,833	1.4	1.4	2.9
(3) 特別損失	799			
損益				
経常損益	152,250			
純損益	151,451			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		97.7	98.9
医業収支比率	72.3		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	38.2		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	25.6		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,069,580
1 固定資産	47,925,403
(1) 有形固定資産	44,868,358
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	3,055,325
2 流動資産	19,144,177
(1) 現金及び預金	14,810,660
(2) 未収金及び未収収益	4,483,648
(3) 貸倒引当金( )	322,068
(4) 貯蔵品	161,501
3 繰延資産	-
負債合計	55,735,520
1 固定負債	44,729,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,657,146
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,072,270
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,264,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,225,028
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	765,946
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,686,725
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,741,235
(1) 長期前受金	10,701,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,960,078
資本合計	11,334,060
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	-148,893
(1) 資本剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	-150,893
負債・資本合計	67,069,580
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	885,576	887,891
資本勘定繰入	136,646	136,646
計	1,022,222	1,024,537

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	金沢市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,233 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
診療科数	21	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	275	78.2	77.2	78.9
療養	-	-	-	-
結核	25	31.2	35.5	34.1
精神	-	-	-	-
感染症	6	2.3	-	-
計	306	72.9	72.4	73.8
平均在院日数（一般病床のみ）		15.6	15.3	15.5

設立団体の状況		
人口（人）	465,699	
決算規模（千円）	177,390,519	
標準財政規模（千円）	100,921,543	
財政力指数	0.88	
経常収支比率（%）	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.9
	将来負担比率（%）	60.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.1
修正医業収益（千円）	4,601,702

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,383,824			
1 経常収益	5,369,230			
(1) 医業収益	4,802,623			
入院収益	3,262,587			
外来収益	1,181,887			
診療収入計	4,444,474			
その他医業収益	358,149			
(うち他会計負担金)	200,921			
(2) 医業外収益	566,607			
(うち国・都道府県補助金)	5,936			
(うち他会計補助・負担金)	323,793			
(うち長期前受金戻入)	195,640			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,594			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,549,506			
2 経常費用	5,549,506			
(1) 医業費用	5,346,786			
職員給与費	3,153,053	65.7	55.7	57.0
材料費	777,321	16.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	334,636	7.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	435,485	9.1	11.0	11.3
減価償却費	363,577	7.6	9.0	9.3
経費	1,028,286	21.4	23.3	22.1
(うち委託料)	536,635	11.2	11.5	11.1
研究研修費	19,602			
資産減耗費	4,947			
(2) 医業外費用	202,720			
(うち支払利息)	13,630	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-180,276			
純損益	-165,682			
累積欠損金	3,126,446			
経常収支比率	96.8		97.7	96.4
医業収支比率	89.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	87.3		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,372,581
1 固定資産	5,451,903
(1) 有形固定資産	5,035,572
(2) 無形固定資産	276,829
(3) 投資その他の資産	139,502
2 流動資産	3,920,678
(1) 現金及び預金	3,238,448
(2) 未収金及び未収収益	707,157
(3) 貸倒引当金（ ）	44,589
(4) 貯蔵品	19,662
3 繰延資産	-
負債合計	4,978,351
1 固定負債	3,461,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,716,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,744,448
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,007,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	362,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	228,159
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	397,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	509,084
(1) 長期前受金	3,394,908
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,885,824
資本合計	4,394,230
1 資本金	6,956,521
2 剰余金	-2,562,291
(1) 資本金剰余金	564,155
(2) 利益剰余金	-3,126,446
負債・資本合計	9,372,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,548	524,714
資本勘定繰入	192,898	225,313
計	712,446	750,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	65.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	七尾市
				病院名	公立能登総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,640 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	330	81.5	85.7	88.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	47.1	50.6	54.7
感染症	4	-	-	-
計	434	72.8	76.8	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	16.3	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	55,325	
決算規模(千円)	30,626,150	
標準財政規模(千円)	18,164,844	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	102.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収益(千円)	7,748,199

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,869,845			
1 経常収益	8,869,845			
(1) 医業収益	7,847,893			
入院収益	5,048,257			
外来収益	2,394,757			
診療収入計	7,443,014			
その他医業収益	404,879			
(うち他会計負担金)	99,694			
(2) 医業外収益	1,021,952			
(うち国・都道府県補助金)	22,362			
(うち他会計補助・負担金)	541,528			
(うち長期前受金戻入)	326,939			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,733,309			
2 経常費用	8,730,522			
(1) 医業費用	8,327,506			
職員給与費	5,079,330	64.7	55.7	54.0
材料費	1,387,291	17.7	24.7	26.9
(うち薬品費)	633,446	8.1	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	673,163	8.6	11.0	12.2
減価償却費	594,178	7.6	9.0	7.9
経費	1,237,157	15.8	23.3	19.2
(うち委託料)	760,427	9.7	11.5	9.3
研究研修費	24,169			
資産減耗費	5,381			
(2) 医業外費用	403,016			
(うち支払利息)	148,709	1.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	2,787			
損益				
経常損益	139,323			
純損益	136,536			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.6		97.7	98.8
医業収支比率	94.2		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	94.3		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,807,696
1 固定資産	9,508,218
(1) 有形固定資産	9,449,038
(2) 無形固定資産	3,583
(3) 投資その他の資産	55,597
2 流動資産	5,299,478
(1) 現金及び預金	4,020,624
(2) 未収金及び未収収益	1,257,885
(3) 貸倒引当金( )	6,865
(4) 貯蔵品	27,834
3 繰延資産	-
負債合計	10,959,874
1 固定負債	7,772,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,632,260
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,140,624
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,844,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	930,096
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	294,644
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	559,632
(9) 前受金及び前受収益	400
3 繰延収益	1,342,243
(1) 長期前受金	4,269,805
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,927,562
資本合計	3,847,822
1 資本金	2,013,271
2 剰余金	1,834,551
(1) 資本剰余金	300,688
(2) 利益剰余金	1,533,863
負債・資本合計	14,807,696
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	674,881	641,222
資本勘定繰入	650,736	451,430
計	1,325,617	1,092,652

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	石川県
	市町村・組合名	小松市
	病院名	小松市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	31,219 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	81.1	84.3	86.3
療養	-	-	-	-
結核	10	26.4	22.2	35.1
精神	26	14.1	34.4	44.7
感染症	4	-	-	-
計	340	73.4	77.3	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.8	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	106,919	
決算規模(千円)	44,592,681	
標準財政規模(千円)	26,153,271	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	142.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.8
修正医業収益(千円)	7,613,325

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,429,387			
1 経常収益	8,416,335			
(1) 医業収益	7,668,286			
入院収益	4,713,817			
外来収益	2,657,209			
診療収入計	7,371,026			
その他医業収益	297,260			
(うち他会計負担金)	54,961			
(2) 医業外収益	748,049			
(うち国・都道府県補助金)	20,708			
(うち他会計補助・負担金)	352,865			
(うち長期前受金戻入)	288,032			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,052			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,408,254			
2 経常費用	8,408,254			
(1) 医業費用	8,032,505			
職員給与費	4,189,802	54.6	55.7	57.0
材料費	2,042,545	26.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,110,376	14.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	876,476	11.4	11.0	11.3
減価償却費	504,027	6.6	9.0	9.3
経費	1,259,279	16.4	23.3	22.1
(うち委託料)	593,363	7.7	11.5	11.1
研究研修費	25,229			
資産減耗費	11,623			
(2) 医業外費用	375,749			
(うち支払利息)	34,088	0.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	8,081			
純損益	21,133			
累積欠損金	2,361,267			
経常収支比率	100.1		97.7	96.4
医業収支比率	95.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	95.2		85.7	85.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,702,976
1 固定資産	8,369,205
(1) 有形固定資産	8,138,233
(2) 無形固定資産	228,860
(3) 投資その他の資産	2,112
2 流動資産	3,333,771
(1) 現金及び預金	1,615,002
(2) 未収金及び未収収益	1,717,272
(3) 貸倒引当金( )	5,520
(4) 貯蔵品	2,018
3 繰延資産	-
負債合計	7,027,178
1 固定負債	3,504,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,722,671
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	781,666
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,444,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	505,945
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,750
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	640,894
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,078,320
(1) 長期前受金	5,440,192
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,361,872
資本合計	4,675,798
1 資本金	7,037,065
2 剰余金	-2,361,267
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,361,267
負債・資本合計	11,702,976
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	506,281	407,826
資本勘定繰入	227,093	227,093
計	733,374	634,919

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	石川県
	市町村・組合名	輪島市
	病院名	市立輪島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,656 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	147	88.7	91.8	85.9
療養	48	54.2	67.2	70.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	-	-
計	199	78.6	84.0	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	21.2	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	27,216	
決算規模(千円)	21,079,025	
標準財政規模(千円)	11,598,851	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	87.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,762,547			
1 経常収益	3,710,263			
(1) 医業収益	3,252,600			
入院収益	1,790,102			
外来収益	1,242,373			
診療収入計	3,032,475			
その他医業収益	220,125			
(うち他会計負担金)	51,870			
(2) 医業外収益	457,663			
(うち国・都道府県補助金)	38,606			
(うち他会計補助・負担金)	232,062			
(うち長期前受金戻入)	156,601			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	52,284			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,515,313			
2 経常費用	3,512,906			
(1) 医業費用	3,299,779			
職員給与費	1,866,102	57.4	55.7	61.3
材料費	574,049	17.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	276,158	8.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	263,741	8.1	11.0	8.2
減価償却費	200,732	6.2	9.0	10.2
経費	648,129	19.9	23.3	30.5
(うち委託料)	295,038	9.1	11.5	13.0
研究研修費	5,243			
資産減耗費	5,524			
(2) 医業外費用	213,127			
(うち支払利息)	91,487	2.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,407			
損益				
経常損益	197,357			
純損益	247,234			
累積欠損金	1,777,072			
経常収支比率	105.6		97.7	96.5
医業収支比率	98.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	97.5		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,710,592
1 固定資産	4,435,577
(1) 有形固定資産	4,376,918
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	58,659
2 流動資産	1,275,015
(1) 現金及び預金	768,799
(2) 未収金及び未収収益	499,708
(3) 貸倒引当金( )	2,396
(4) 貯蔵品	8,844
3 繰延資産	-
負債合計	5,374,900
1 固定負債	3,427,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,539,439
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	848,987
(7) リース債務	39,446
2 流動負債	879,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	520,137
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,704
(6) リース債務	10,758
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	211,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,067,816
(1) 長期前受金	3,887,629
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,819,813
資本合計	335,692
1 資本金	1,565,129
2 剰余金	-1,229,437
(1) 資本剰余金	547,635
(2) 利益剰余金	-1,777,072
負債・資本合計	5,710,592
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.0
修正医業収益(千円)	3,200,730

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,052	283,932
資本勘定繰入	316,324	327,738
計	656,376	611,670

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	珠洲市
				病院名	珠洲市総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,865 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ災		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	156	77.1	69.8	78.7
療養	-	-	-	-
結核	7	5.7	2.9	12.8
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	163	74.0	67.0	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	15.9	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	14,625	
決算規模(千円)	10,284,567	
標準財政規模(千円)	6,593,973	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	44.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収益(千円)	3,555,097

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,121,761			
1 経常収益	4,116,533			
(1) 医業収益	3,599,612			
入院収益	1,549,555			
外来収益	1,901,892			
診療収入計	3,451,447			
その他医業収益	148,165			
(うち他会計負担金)	44,515			
(2) 医業外収益	516,921			
(うち国・都道府県補助金)	18,124			
(うち他会計補助・負担金)	187,230			
(うち長期前受金戻入)	248,859			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,228			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,051,711			
2 経常費用	4,051,710			
(1) 医業費用	3,821,317			
職員給与費	1,685,128	46.8	55.7	61.3
材料費	1,312,332	36.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	1,074,325	29.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	205,070	5.7	11.0	8.2
減価償却費	187,335	5.2	9.0	10.2
経費	504,172	14.0	23.3	30.5
(うち委託料)	227,679	6.3	11.5	13.0
研究研修費	6,176			
資産減耗費	126,174			
(2) 医業外費用	230,393			
(うち支払利息)	78,069	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	1			
損益				
経常損益	64,823			
純損益	70,050			
累積欠損金	955,167			
経常収支比率	101.6		97.7	96.5
医業収支比率	94.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	95.9		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,716,241
1 固定資産	4,403,197
(1) 有形固定資産	4,279,631
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	123,566
2 流動資産	2,313,044
(1) 現金及び預金	1,695,623
(2) 未収金及び未収収益	608,813
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,608
3 繰延資産	-
負債合計	5,928,127
1 固定負債	3,550,570
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,755,943
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	794,627
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,144,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	447,010
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,610
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	551,134
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,232,803
(1) 長期前受金	1,910,807
(2) 長期前受金収益化累計額( )	678,004
資本合計	788,114
1 資本金	1,603,221
2 剰余金	-815,107
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-815,107
負債・資本合計	6,716,241
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,745	231,745
資本勘定繰入	288,241	288,241
計	519,986	519,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	加賀市
				病院名	加賀市医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,629 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	89.3	90.7	89.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	89.3	90.7	89.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	16.3	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	67,186	
決算規模(千円)	30,857,538	
標準財政規模(千円)	17,738,181	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	72.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	6,344,799

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,593,865			
1 経常収益	7,593,865			
(1) 医業収益	6,420,124			
入院収益	4,384,550			
外来収益	1,772,337			
診療収入計	6,156,887			
その他医業収益	263,237			
(うち他会計負担金)	75,325			
(2) 医業外収益	1,173,741			
(うち国・都道府県補助金)	22,179			
(うち他会計補助・負担金)	572,996			
(うち長期前受金戻入)	492,507			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,756,865			
2 経常費用	7,756,865			
(1) 医業費用	7,323,739			
職員給与費	4,179,663	65.1	55.7	57.0
材料費	1,273,094	19.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	610,798	9.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	662,296	10.3	11.0	11.3
減価償却費	776,309	12.1	9.0	9.3
経費	1,057,106	16.5	23.3	22.1
(うち委託料)	656,965	10.2	11.5	11.1
研究研修費	26,907			
資産減耗費	10,660			
(2) 医業外費用	433,126			
(うち支払利息)	81,181	1.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-163,000			
純損益	-163,000			
累積欠損金	850,128			
経常収支比率	97.9		97.7	96.4
医業収支比率	87.7		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	89.5		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,236,487
1 固定資産	12,930,013
(1) 有形固定資産	12,452,814
(2) 無形固定資産	16,197
(3) 投資その他の資産	461,002
2 流動資産	1,306,474
(1) 現金及び預金	252,350
(2) 未収金及び未収収益	1,034,802
(3) 貸倒引当金( )	2,000
(4) 貯蔵品	14,413
3 繰延資産	-
負債合計	13,540,393
1 固定負債	8,839,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,999,521
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,839,511
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,511,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	857,127
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	252,284
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	396,812
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,190,079
(1) 長期前受金	5,859,515
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,669,436
資本合計	696,094
1 資本金	1,531,044
2 剰余金	-834,950
(1) 資本金剰余金	15,178
(2) 利益剰余金	-850,128
負債・資本合計	14,236,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	622,252	648,321
資本勘定繰入	482,575	482,575
計	1,104,827	1,130,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	能美市
				病院名	国民健康保険能美市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,416 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	62.4	62.3	70.9
療養	40	80.7	65.6	72.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	66.8	63.2	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	19.4	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	48,881	
決算規模(千円)	22,860,375	
標準財政規模(千円)	13,583,825	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	0.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.4
修正医業収益(千円)	1,366,534

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,410,805			
1 経常収益	2,410,805			
(1) 医業収益	1,429,924			
入院収益	783,046			
外来収益	479,725			
診療収入計	1,262,771			
その他医業収益	167,153			
(うち他会計負担金)	63,390			
(2) 医業外収益	980,881			
(うち国・都道府県補助金)	2,277			
(うち他会計補助・負担金)	440,101			
(うち長期前受金戻入)	122,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,454,287			
2 経常費用	2,454,287			
(1) 医業費用	1,969,046			
職員給与費	1,167,721	81.7	55.7	61.3
材料費	199,661	14.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	102,340	7.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,266	5.5	11.0	8.2
減価償却費	247,754	17.3	9.0	10.2
経費	350,657	24.5	23.3	30.5
(うち委託料)	222,605	15.6	11.5	13.0
研究研修費	2,330			
資産減耗費	923			
(2) 医業外費用	485,241			
(うち支払利息)	12,656	0.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-43,482			
純損益	-43,482			
累積欠損金	566,305			
経常収支比率	98.2		97.7	96.5
医業収支比率	72.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	35.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	20.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.7		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,364,804
1 固定資産	2,929,975
(1) 有形固定資産	2,842,697
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	87,278
2 流動資産	434,829
(1) 現金及び預金	159,469
(2) 未収金及び未収収益	270,655
(3) 貸倒引当金( )	3,777
(4) 貯蔵品	8,482
3 繰延資産	-
負債合計	2,077,896
1 固定負債	593,188
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	578,588
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	14,600
(7) リース債務	-
2 流動負債	358,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	198,019
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,797
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,177
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,126,415
(1) 長期前受金	2,161,968
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,035,553
資本合計	1,286,908
1 資本金	1,798,369
2 剰余金	-511,461
(1) 資本剰余金	43,287
(2) 利益剰余金	-554,748
負債・資本合計	3,364,804
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,491	503,491
資本勘定繰入	109,961	109,961
計	363,452	613,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	石川県
	市町村・組合名	津幡町
	病院名	国保河北中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,978 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	83.1	84.1	84.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	83.1	84.1	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	13.4	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	36,968	
決算規模(千円)	14,037,921	
標準財政規模(千円)	8,527,912	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	73.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.9
修正医業収益(千円)	1,018,783

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,228,466			
1 経常収益	1,228,466			
(1) 医業収益	1,068,653			
入院収益	641,914			
外来収益	300,511			
診療収入計	942,425			
その他医業収益	126,228			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	159,813			
(うち国・都道府県補助金)	118			
(うち他会計補助・負担金)	86,635			
(うち長期前受金戻入)	68,098			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,207,704			
2 経常費用	1,207,704			
(1) 医業費用	1,172,737			
職員給与費	596,261	55.8	55.7	72.6
材料費	98,384	9.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	55,397	5.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,883	4.0	11.0	5.6
減価償却費	98,070	9.2	9.0	11.1
経費	376,332	35.2	23.3	31.9
(うち委託料)	164,035	15.3	11.5	13.0
研究研修費	2,796			
資産減耗費	894			
(2) 医業外費用	34,967			
(うち支払利息)	3,867	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	20,762			
純損益	20,762			
累積欠損金	161,503			
経常収支比率	101.7		97.7	97.4
医業収支比率	91.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	90.4		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	993,918
1 固定資産	802,177
(1) 有形固定資産	751,041
(2) 無形固定資産	47,156
(3) 投資その他の資産	3,980
2 流動資産	191,741
(1) 現金及び預金	41,137
(2) 未収金及び未収収益	149,543
(3) 貸倒引当金( )	1,645
(4) 貯蔵品	2,706
3 繰延資産	-
負債合計	936,494
1 固定負債	250,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	207,759
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,018
(7) リース債務	1,047
2 流動負債	372,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,255
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,629
(6) リース債務	1,046
(7) 一時借入金	150,000
(8) 未払金及び未払費用	57,547
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	313,534
(1) 長期前受金	1,193,000
(2) 長期前受金収益化累計額( )	879,466
資本合計	57,424
1 資本金	218,639
2 剰余金	-161,215
(1) 資本金剰余金	288
(2) 利益剰余金	-161,503
負債・資本合計	993,918
不良債務	71,140
実質資金不足額	71,140
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	136,505	136,505
資本勘定繰入	69,625	69,625
計	206,130	206,130

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	71,140	6.7
平成30年度	72,051	6.8
平成29年度	8,578	0.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	71,140
地財法上の資金不足比率(%)	6.6

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	志賀町
				病院名	富来病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,345 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨		
診療科数	-	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	81.4	66.2	60.5
療養	-	-	67.4	67.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	81.4	66.6	63.1
平均在院日数（一般病床のみ）		12.5	19.7	18.6

設立団体の状況		
人口（人）	20,422	
決算規模（千円）	13,964,300	
標準財政規模（千円）	8,684,333	
財政力指数	0.62	
経常収支比率（%）	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.8
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	97.4
修正医業収益（千円）	1,135,399

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,432,472			
1 経常収益	1,358,200			
（1）医業収益	1,171,693			
入院収益	830,194			
外来収益	270,842			
診療収入計	1,101,036			
その他医業収益	70,657			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	186,507			
（うち国・都道府県補助金）	452			
（うち他会計補助・負担金）	139,181			
（うち長期前受金戻入）	40,509			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	74,272			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,229,933			
2 経常費用	1,229,932			
（1）医業費用	1,165,816			
職員給与費	653,830	55.8	55.7	72.6
材料費	144,768	12.4	24.7	15.8
（うち薬品費）	59,358	5.1	13.3	9.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	66,849	5.7	11.0	5.6
減価償却費	75,136	6.4	9.0	11.1
経費	288,531	24.6	23.3	31.9
（うち委託料）	142,630	12.2	11.5	13.0
研究研修費	1,706			
資産減耗費	1,845			
（2）医業外費用	64,116			
（うち支払利息）	26,836	2.3	1.4	1.7
（3）特別損失	1			
損益				
経常損益	128,268			
純損益	202,539			
累積欠損金	194,991			
経常収支比率	110.4		97.7	97.4
医業収支比率	100.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	96.2		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,571,144
1 固定資産	1,673,378
（1）有形固定資産	1,631,071
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	42,307
2 流動資産	897,766
（1）現金及び預金	710,231
（2）未収金及び未収収益	186,480
（3）貸倒引当金（ ）	8,398
（4）貯蔵品	9,453
3 繰延資産	-
負債合計	1,730,780
1 固定負債	1,167,881
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,167,287
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	294
2 流動負債	286,573
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,814
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	41,108
（6）リース債務	93
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	87,895
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	276,326
（1）長期前受金	1,469,746
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	1,193,420
資本合計	840,364
1 資本金	1,035,355
2 剰余金	-194,991
（1）資本金剰余金	-
（2）利益剰余金	-194,991
負債・資本合計	2,571,144
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	175,475	175,475
資本勘定繰入	100,533	100,533
計	276,008	276,008

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	16.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	宝達志水町
				病院名	町立宝達志水病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	6,097 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	43	85.6	87.9	85.8
療養	27	97.2	98.6	93.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	90.1	92.0	88.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	16.3	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	13,174	
決算規模(千円)	7,574,916	
標準財政規模(千円)	5,305,115	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	23.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,217,387			
1 経常収益	1,217,387			
(1) 医業収益	1,006,774			
入院収益	598,643			
外来収益	327,194			
診療収入計	925,837			
その他医業収益	80,937			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	210,613			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	110,808			
(うち長期前受金戻入)	91,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,290,889			
2 経常費用	1,287,702			
(1) 医業費用	1,254,440			
職員給与費	610,865	60.7	55.7	72.6
材料費	135,086	13.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	74,927	7.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,159	6.0	11.0	5.6
減価償却費	194,856	19.4	9.0	11.1
経費	310,087	30.8	23.3	31.9
(うち委託料)	121,526	12.1	11.5	13.0
研究研修費	2,576			
資産減耗費	970			
(2) 医業外費用	33,262			
(うち支払利息)	3,004	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	3,187			
損益				
経常損益	-70,315			
純損益	-73,502			
累積欠損金	73,502			
経常収支比率	94.5		97.7	97.4
医業収支比率	80.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	83.0		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,532,115
1 固定資産	2,695,318
(1) 有形固定資産	2,499,058
(2) 無形固定資産	1,456
(3) 投資その他の資産	194,804
2 流動資産	836,797
(1) 現金及び預金	688,436
(2) 未収金及び未収収益	143,263
(3) 貸倒引当金( )	1,039
(4) 貯蔵品	6,137
3 繰延資産	-
負債合計	2,656,574
1 固定負債	1,827,589
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,714,307
(2) その他の企業債	113,282
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	178,305
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,436
(2) その他の企業債	13,889
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,554
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,892
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	650,680
(1) 長期前受金	980,032
(2) 長期前受金収益化累計額( )	329,352
資本合計	875,541
1 資本金	475,291
2 剰余金	400,250
(1) 資本金剰余金	422,091
(2) 利益剰余金	-21,841
負債・資本合計	3,532,115
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収益(千円)	968,783

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	147,286	148,799
資本勘定繰入	50,091	57,005
計	197,377	205,804

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	穴水町
				病院名	公立穴水総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	13,090 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	87.4	89.0	87.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	87.4	89.0	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.1	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,786	
決算規模(千円)	6,744,588	
標準財政規模(千円)	3,878,680	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	89.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.6
修正医業収益(千円)	1,989,757

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,632,076			
1 経常収益	2,632,076			
(1) 医業収益	2,039,627			
入院収益	1,131,911			
外来収益	800,156			
診療収入計	1,932,067			
その他医業収益	107,560			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	592,449			
(うち国・都道府県補助金)	20,790			
(うち他会計補助・負担金)	227,047			
(うち長期前受金戻入)	78,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,455,500			
2 経常費用	2,455,500			
(1) 医業費用	2,197,378			
職員給与費	1,239,265	60.8	55.7	61.3
材料費	357,373	17.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	200,224	9.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	157,149	7.7	11.0	8.2
減価償却費	153,485	7.5	9.0	10.2
経費	444,763	21.8	23.3	30.5
(うち委託料)	272,961	13.4	11.5	13.0
研究研修費	2,492			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	258,122			
(うち支払利息)	7,045	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	176,576			
純損益	176,576			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		97.7	96.5
医業収支比率	92.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	95.9		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,688,172
1 固定資産	3,254,757
(1) 有形固定資産	2,674,244
(2) 無形固定資産	1,763
(3) 投資その他の資産	578,750
2 流動資産	1,433,415
(1) 現金及び預金	1,033,304
(2) 未収金及び未収収益	381,881
(3) 貸倒引当金( )	8,274
(4) 貯蔵品	26,504
3 繰延資産	-
負債合計	1,171,217
1 固定負債	603,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	580,502
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	22,717
2 流動負債	280,409
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,876
(6) リース債務	8,285
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	73,036
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	287,589
(1) 長期前受金	1,155,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	867,825
資本合計	3,516,955
1 資本金	1,983,393
2 剰余金	1,533,562
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,533,562
負債・資本合計	4,688,172
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,917	276,917
資本勘定繰入	55,083	55,083
計	332,000	332,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	能登町
				病院名	公立宇出津総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,703 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	83.6	73.1	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	83.6	73.1	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	16.6	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	17,568	
決算規模(千円)	19,716,988	
標準財政規模(千円)	8,555,020	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	94.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.6
修正医業収益(千円)	2,030,792

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,325,347			
1 経常収益	2,325,139			
(1) 医業収益	2,049,590			
入院収益	1,020,590			
外来収益	927,705			
診療収入計	1,948,295			
その他医業収益	101,295			
(うち他会計負担金)	18,798			
(2) 医業外収益	275,549			
(うち国・都道府県補助金)	7,570			
(うち他会計補助・負担金)	148,738			
(うち長期前受金戻入)	106,864			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	208			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,253,050			
2 経常費用	2,247,198			
(1) 医業費用	2,168,761			
職員給与費	1,074,720	52.4	55.7	61.3
材料費	431,883	21.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	242,137	11.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	169,122	8.3	11.0	8.2
減価償却費	172,409	8.4	9.0	10.2
経費	467,991	22.8	23.3	30.5
(うち委託料)	184,919	9.0	11.5	13.0
研究研修費	4,314			
資産減耗費	17,444			
(2) 医業外費用	78,437			
(うち支払利息)	3,550	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	5,852			
損益				
経常損益	77,941			
純損益	72,297			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.5		97.7	96.5
医業収支比率	94.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	96.0		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,127,728
1 固定資産	2,410,281
(1) 有形固定資産	2,359,351
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	50,930
2 流動資産	717,447
(1) 現金及び預金	356,728
(2) 未収金及び未収収益	344,738
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	15,981
3 繰延資産	-
負債合計	1,969,839
1 固定負債	978,027
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	499,582
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	442,777
(7) リース債務	35,668
2 流動負債	426,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	185,684
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,264
(6) リース債務	12,008
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	160,409
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	564,951
(1) 長期前受金	1,593,900
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,028,949
資本合計	1,157,889
1 資本金	465,590
2 剰余金	692,299
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	692,299
負債・資本合計	3,127,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,436	167,536
資本勘定繰入	170,718	185,903
計	338,154	353,439

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	石川県
				市町村・組合名	羽咋郡市広域圏事務組合(事業会計分)
				病院名	公立羽咋病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,948 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	174	78.7	78.8	82.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	174	78.7	78.8	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	21.7	21.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.2
修正医業収益(千円)	3,305,920

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,565,253			
1 経常収益	3,556,576			
(1) 医業収益	3,360,822			
入院収益	2,081,256			
外来収益	1,171,449			
診療収入計	3,252,705			
その他医業収益	108,117			
(うち他会計負担金)	54,902			
(2) 医業外収益	195,754			
(うち国・都道府県補助金)	8,658			
(うち他会計補助・負担金)	79,410			
(うち長期前受金戻入)	82,245			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,677			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,479,851			
2 経常費用	3,478,730			
(1) 医業費用	3,334,238			
職員給与費	1,749,258	52.0	55.7	61.3
材料費	539,891	16.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	281,992	8.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	226,046	6.7	11.0	8.2
減価償却費	246,345	7.3	9.0	10.2
経費	787,426	23.4	23.3	30.5
(うち委託料)	326,375	9.7	11.5	13.0
研究研修費	6,664			
資産減耗費	4,654			
(2) 医業外費用	144,492			
(うち支払利息)	19,346	0.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,121			
損益				
経常損益	77,846			
純損益	85,402			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.2		97.7	96.5
医業収支比率	100.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	3.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	3.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	98.4		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,230,914
1 固定資産	4,777,276
(1) 有形固定資産	3,055,348
(2) 無形固定資産	6,597
(3) 投資その他の資産	1,715,331
2 流動資産	2,453,638
(1) 現金及び預金	1,816,421
(2) 未収金及び未収収益	518,554
(3) 貸倒引当金( )	906
(4) 貯蔵品	18,791
3 繰延資産	-
負債合計	3,922,540
1 固定負債	2,322,701
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,169,115
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,153,586
(7) リース債務	-
2 流動負債	616,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,294
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	297,780
(9) 前受金及び前受収益	32
3 繰延収益	983,538
(1) 長期前受金	2,667,719
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,684,181
資本合計	3,308,374
1 資本金	416,602
2 剰余金	2,891,772
(1) 資本剰余金	1,684,286
(2) 利益剰余金	1,207,486
負債・資本合計	7,230,914
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,574	134,312
資本勘定繰入	182,142	162,987
計	374,716	297,299

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	石川県
	市町村・組合名	白山石川医療企業団
	病院名	公立松任石川中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	41,504 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	275	92.5	93.4	94.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	30	74.6	77.3	79.2
感染症	-	-	-	-
計	305	90.7	91.8	93.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.0	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.7
修正医業収益(千円)	8,904,313

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,901,057			
1 経常収益	9,901,057			
(1) 医業収益	9,038,774			
入院収益	5,492,025			
外来収益	2,624,729			
診療収入計	8,116,754			
その他医業収益	922,020			
(うち他会計負担金)	134,461			
(2) 医業外収益	862,283			
(うち国・都道府県補助金)	11,529			
(うち他会計補助・負担金)	430,407			
(うち長期前受金戻入)	287,872			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,258,189			
2 経常費用	10,258,189			
(1) 医業費用	9,705,279			
職員給与費	4,254,012	47.1	55.7	57.0
材料費	1,891,235	20.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	791,636	8.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,012,241	11.2	11.0	11.3
減価償却費	1,120,904	12.4	9.0	9.3
経費	2,398,181	26.5	23.3	22.1
(うち委託料)	1,633,229	18.1	11.5	11.1
研究研修費	26,319			
資産減耗費	14,628			
(2) 医業外費用	552,910			
(うち支払利息)	141,740	1.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-357,132			
純損益	-357,132			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		97.7	96.4
医業収支比率	93.1		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	91.0		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,509,696
1 固定資産	21,028,143
(1) 有形固定資産	18,422,724
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,604,526
2 流動資産	3,481,553
(1) 現金及び預金	1,312,616
(2) 未収金及び未収収益	2,115,391
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	53,546
3 繰延資産	-
負債合計	18,511,618
1 固定負債	12,521,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,521,508
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,686,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,346,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	363,621
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	932,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,303,242
(1) 長期前受金	8,008,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,704,971
資本合計	5,998,078
1 資本金	691,610
2 剰余金	5,306,468
(1) 資本剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	1,279,972
負債・資本合計	24,509,696
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,759	564,868
資本勘定繰入	216,904	216,904
計	933,663	781,772

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	石川県
	市町村・組合名	白山石川医療企業団
	病院名	公立つるぎ病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,215 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	90.4	91.9	86.1
療養	53	93.9	95.1	91.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	152	91.6	93.1	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		26.8	26.8	24.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.1
修正医業収益(千円)	2,640,501

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,994,322			
1 経常収益	2,994,322			
(1) 医業収益	2,776,940			
入院収益	1,686,907			
外来収益	687,963			
診療収入計	2,374,870			
その他医業収益	402,070			
(うち他会計負担金)	136,439			
(2) 医業外収益	217,382			
(うち国・都道府県補助金)	20,626			
(うち他会計補助・負担金)	125,446			
(うち長期前受金戻入)	43,312			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,159,380			
2 経常費用	3,159,380			
(1) 医業費用	2,998,438			
職員給与費	1,488,697	53.6	55.7	61.3
材料費	332,835	12.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	165,340	6.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	129,430	4.7	11.0	8.2
減価償却費	241,258	8.7	9.0	10.2
経費	926,172	33.4	23.3	30.5
(うち委託料)	580,809	20.9	11.5	13.0
研究研修費	9,476			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	160,942			
(うち支払利息)	41,341	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-165,058			
純損益	-165,058			
累積欠損金	286,510			
経常収支比率	94.8		97.7	96.5
医業収支比率	92.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.5		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,509,696
1 固定資産	21,028,143
(1) 有形固定資産	18,422,724
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,604,526
2 流動資産	3,481,553
(1) 現金及び預金	1,312,616
(2) 未収金及び未収収益	2,115,391
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	53,546
3 繰延資産	-
負債合計	18,511,618
1 固定負債	12,521,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,521,508
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,686,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,346,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	363,621
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	932,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,303,242
(1) 長期前受金	8,008,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,704,971
資本合計	5,998,078
1 資本金	691,610
2 剰余金	5,306,468
(1) 資本剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	1,279,972
負債・資本合計	24,509,696
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	775,718	261,885
資本勘定繰入	86,213	86,213
計	861,931	348,098

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。